

# ellipse

[エリプス]

## TOPICS

### お茶大の建物の変遷 ～学生宿舎編～

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を[エリプス]と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター  
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人  
お茶の水学術事業会

## REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

## INFORMATION

イベント情報  
お茶の水ブックレットのご紹介  
事務局よりお知らせ

# お茶大の建物の変遷 ～学生宿舎編～

令和4(2022)年4月、お茶の水女子大学の構内に、新しい学生寮「音羽館」が開寮します。学生がキャンパス内で、安全・安心・快適・便利な大学生を送り、共同生活を通して自律した学びと交流を深めることを目的としたもので、450室の居室だけでなく、各階に1室、共用のコンセプトルームが設けられ、1階部分には、課外活動施設(共用部室・練習室・ピアノ室等)も併設されています。

大正12(1923)年9月1日の関東大震災により、御茶の水(現在の文京区湯島)の校舎を焼失した東京女子高等師範学校が、大塚に移転してから今日まで、学内には4つの学生寮が建設されました。大学に残る資料からその変遷をたどってみましょう。



音羽館の外観イメージ図(お茶の水女子大学HPより)

## 第一寄宿舍・第二寄宿舍

関東大震災後しばらくは、震災の翌年に旧校舎および寄宿舍の焼け跡に落成した仮校舎で授業が行われていました。そして、昭和3(1928)年11月に、文部省より現在の大塚の校地が校舎の本建築のために交付されると、昭和4年には校舎に先立って第一寄宿舍が完成します。生徒はそこから御茶の水の仮校舎に通学していました。第二寄宿舍ができたのは昭和11(1936)年3月。同年11月28日には、新校舎の落成式が挙行されました。



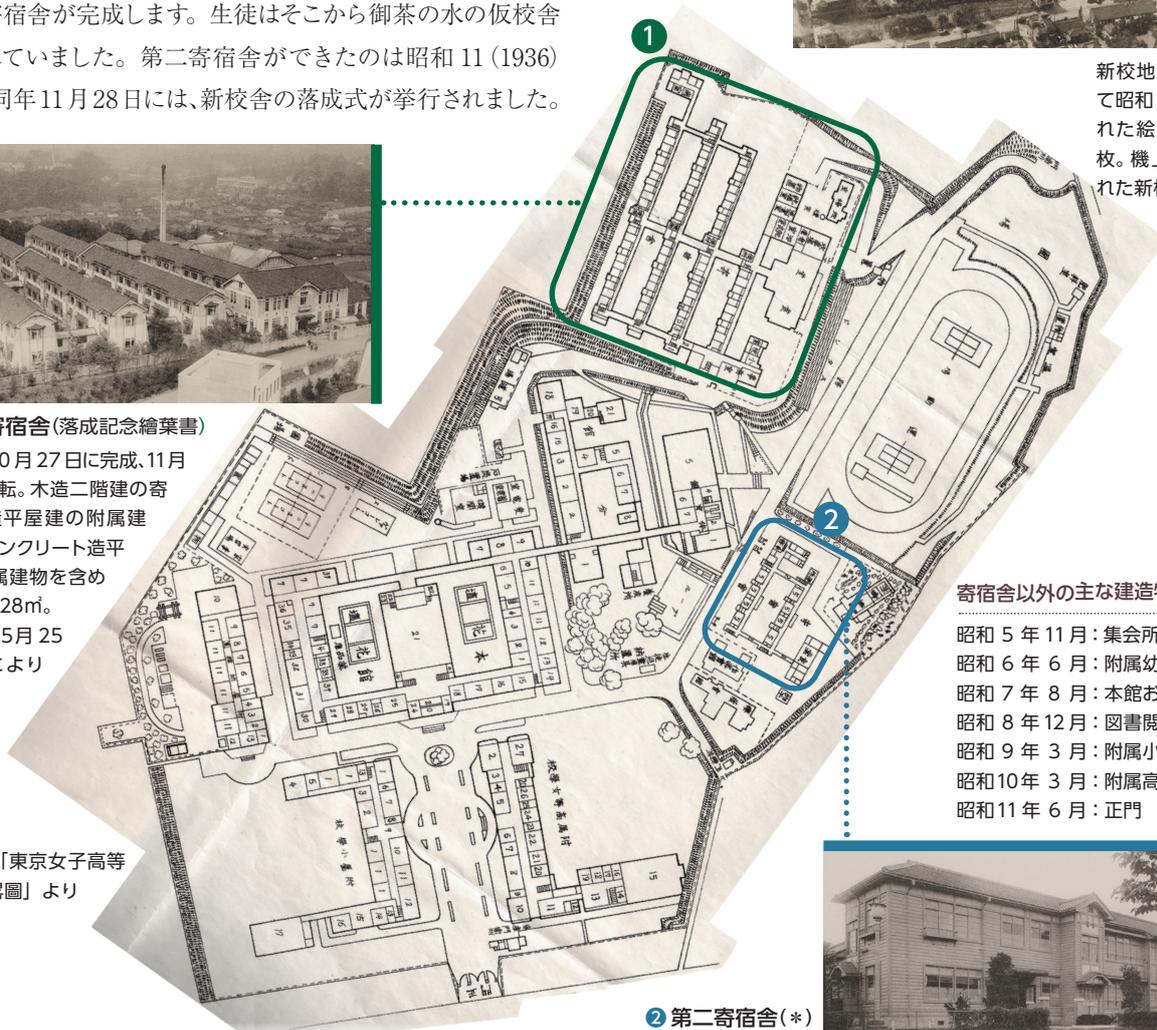
新校地落成を記念して昭和11年に作成された絵葉書の中の1枚。機上から撮影された新校地の全景。



### ① 第一寄宿舍(落成記念絵葉書)

昭和4年10月27日に完成、11月22日に移転。木造二階建の寄宿舍、木造平屋建の附属建物、鉄筋コンクリート造平屋建の附属建物を含めて6039.528㎡。  
昭和20年5月25日、空襲により焼失。

昭和11年「東京女子高等師範学校畧圖」より



### 寄宿舍以外の主な建造物の竣工年月

- 昭和5年11月: 集会所・雨天体操場
- 昭和6年6月: 附属幼稚園
- 昭和7年8月: 本館および講堂
- 昭和8年12月: 図書閲覧室・書庫
- 昭和9年3月: 附属小学校
- 昭和10年3月: 附属高等学校
- 昭和11年6月: 正門

### ② 第二寄宿舍(\*)

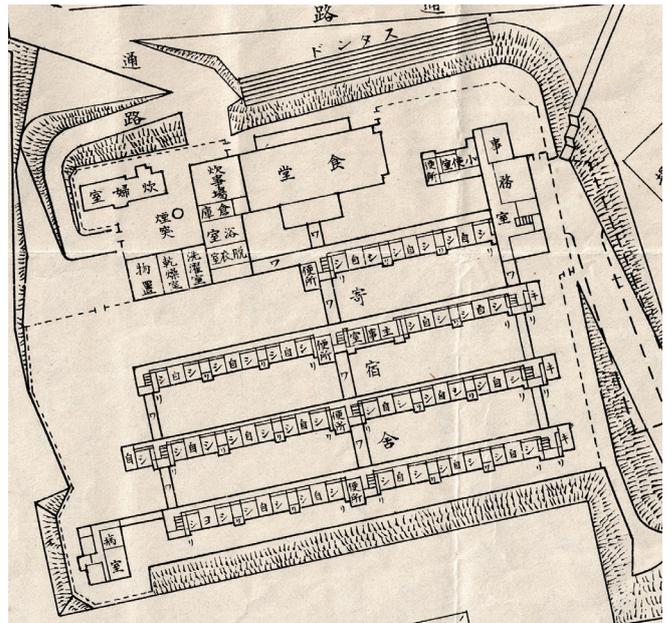
昭和11年3月24日完成。木造二階建一部平屋建、附属建物を含め1230.9㎡。  
昭和20年4月13日、空襲により焼失。



## 潜入! 第一寄宿舎

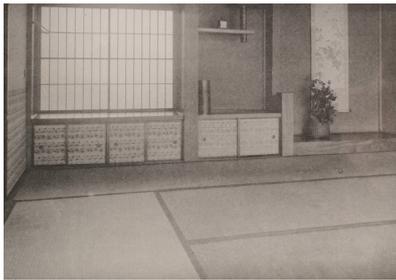
第一寄宿舎では、約 350 名の生徒が生活を共にしていました。その様子は、当時の写真や昭和 59 (1984) 年に刊行された『お茶の水女子大学百年史』からうかがい知ることができます。

「建物の内部は、板の間にテーブルや椅子の置いてある自習室の両側に、押し入れつきの八畳間の寝室があるというつくりで、一室四人が寝起きし、自習室は両側の寝室から八人で利用した。寝室と寝室のあいだは大きな鏡のついた洗面所で、やはり両側の寝室から利用する仕組みであった。寄宿舎生活は生徒主事の監督のもとに、各寮から選出された役員による各寮単位の自治で、役員には文庫、整理、炊事、娯楽、運動、会計、購買、園芸部の各委員と各寮二人ずつの寮室総代があり、月一回の総代会議、学期一回の寮総代会を開いていた。また、上級生は週番につき舎監の見習いをしたといわれる。周囲の環境は閑静で、晴れた日には富士山が見えたという」



第一寄宿舎1階部分 (昭和 6 年「東京女子高等師範学校寄宿舎並建物配置豫定圖」より)。「シ」が寝室、「自」が自習室。

「御茶の水時代の寮名を継承する蘭・竹・梅・菊の四寮が渡り廊下で大食堂へつながれ、炊事場・浴室・洗濯室なども完備していた。生徒室四十三で、各室は一つの自習室とその両側にある二つの寝室から成り、各科各学年の生徒で混成された八人の室友が起居をともにすることとなっていた」(『お茶の水女子大学百年史』)



寝室 (居室) (\*)



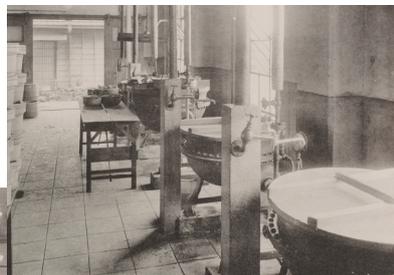
寝室 (居室) での娯楽 (\*\*)

自習室 (\*)



自習風景 (\*\*)

食堂と炊事場 (\*)



洗濯場 (\*)



(出典)

\* 『落成記念写真帖』  
(昭和 11 年 11 月 29 日)

\*\* 『卒業写真記念帖』  
(昭和 12 年 3 月、文科)

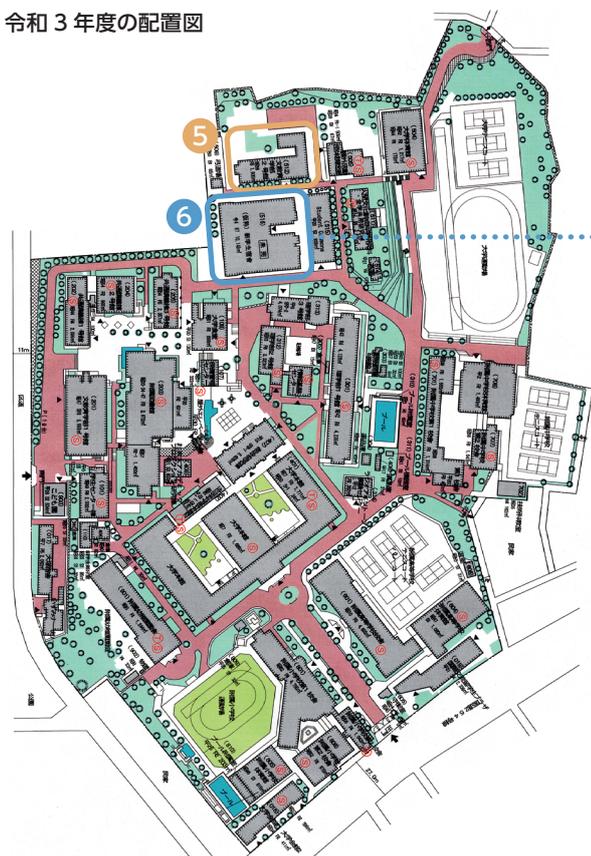
## 第三寄宿舍（学内寮）



### 昭和 54 年度「お茶の水女子大学全体配置図」

第一寄宿舍の跡地には、人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟、学生会館、音楽練習室、学内寮 (3) が、第二寄宿舍の跡地には附属中学校 (4) がある。

### 令和 3 年度の配置図



昭和 31 (1956) 年、第一寄宿舍の跡地の一部に、第三寄宿舍 (学内寮) が作られました。A 号棟は 3 月 31 日に、B 号棟は 12 月 26 日に完成しました。『学園だより』第 3 号 (昭和 42 年 6 月 20 日発行) には、A 号棟は木造 2 階建て 496㎡、収容人員 45 名、各室 4 名であったと記されてされています (B 号棟の広さ・人員などの記載無し)。

### 昭和 31 年 6 月



学内寮の外観と内部

### 昭和 52 年 4 月



右が A 号棟、左が B 号棟

A 号棟玄関

「A・B 棟はともに上下四室で一ブロックを構成し、炊事場、洗面所、トイレ、階段が専用に分けられ、部屋は各室とも二段に区切られ、上段が畳敷の寝室に、下段が板の間の学習のコーナーに当てられた。当時は大変ユニークな建物として大学関係の見学者が多く訪れた」(『お茶の水女子大学百年史』)

『学生便覧』の構内図に学内寮が載っているのは昭和 56 年までです。現在その場所には文教育学部 2 号館 (昭和 58 年竣工) があります (5)。

## 音羽館 (6)



鉄筋コンクリート造  
地上 7 階建  
延床面積：10,149㎡  
建物の高さ：21.4 m

完成間近の音羽館  
2022 年 1 月 17 日撮影

- 居室 (個室) 14.5 ㎡ (洗面化粧台、ユニットシャワー、トイレ、ミニキッチン、冷蔵庫、エアコン、ベッド、机、衣類収納棚等 完備)。
- 共用部分：ラウンジ、宅配ボックス、ランドリー、談話室、各階に 1 室コンセプトルーム OCHA-no-MA (ライブラリー、たたみの間、キッチンスタジオ、シアタールーム、ミーティングルーム、フィットネススタジオ)。

協力：お茶の水女子大学施設課 (神田浩美)、歴史資料館 資料提供：お茶の水女子大学

## ◆本の紹介

## お茶の水ブックレットのご紹介



お茶の水学術事業会は、定款に定める「教育・研究等に関する啓発書の発行」（第5条）事業の一つとして、お茶の水ブックレットシリーズを出版しています。

その題材は多岐にわたり、例えば、2010年に刊行した第9号は、児童虐待による事件が相次ぐ中で、内田伸子氏が生涯発達心理学の観点から書き下ろしてくださいました。「児童虐待からの再生」と副題が付け

られた本書は、この問題を考える端緒として今日まで様々な立場の方にご活用いただき、版を重ねています。氏が2021年度の文化功労者に選出され、その理由の一つが「心理学の基礎研究のみならず、子育てや教育の現実に寄り添い、一般向けの書籍を通じて子供の社会性、認知能力、情緒を育むことに貢献する知見を提供し、児童虐待など逆境にある子供の支援や対応につながる研究の蓄積・普及にも貢献してきた」であったことも申し添えます。

## 既刊ブックレットのタイトル

\*は在庫なし

- 第1号 「教育と平和 — アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」(\*)
  - 第2号 「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」(\*)
  - 第3号 「ライフワールド・ウォッチセンター」(\*)
  - 第4号 「生命科学フォーラム」(\*)
  - 第5号 「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル — 社会と文学に見る迷い・決断・戦略」(\*)
  - 第6号 「『女性と科学』を科学する」
  - 第7号 「家族と犯罪 — 近い者の憎悪はなぜ？」
  - 第8号 「明治 大正 昭和に生きた女性作家たち」(\*)
  - 第9号 「子どもは変わる・大人も変わる — 児童虐待からの再生」
  - 第10号 「キャリア・デザインと子育て — 首都圏女性の調査から」
  - 第11号 「大村智博士講演録 私の半生と出会った女性たち」
- <https://www.npo-ochanomizu.org/booklet.html>

## ◆新刊のご紹介

## 第12号 「グローバルリーダーとは

— 今、そして未来に向けて —」（2022年3月）

本書は2021年3月27日にお茶の水女子大学が主催したウェビナー「グローバルリーダーとは—今、そして未来に向けて—」の記録です。

2020年度の半ば、第16代お茶の水女子大学長として最終年度を迎えた室伏きみ子氏に、これまでの取り組みや成果をご紹介いただき、林伴子内閣府男女共同参画局長、佐々木泰子理事・副学長（当時）と共に、これからの時代に求められるグローバルリーダー像やリーダー養成を担う大学の在り方について論じていただく機会を設けることが企画されました。その後、新型コロナウイルス感染症の蔓延に歯止めがかからず、一時は開催が危ぶまれましたが、登壇者並びに関係者の方々の熱意とご尽力により、Zoomを利用して実施の運びとなりました。終了後には、登壇者らの言葉に励まされた、ご自身の体験に

重ねて共感した、というコメントが相次いだそうです。

本書には三つの側面があります。

一つは、2020年12月25日に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画～すべての女性が輝く令和の社会へ～」について分かりやすく解説されていることです。ジェンダーギャップ指数の順位（2020年度121位、2021年度120位）に象徴される日本の現状とそれを打破するための指針となる第5次基本計画のポイントがご理解いただけると思います。

二つ目は、リーダーの視点から、ウィズコロナ・ポストコロナ時代のグローバル社会に求められるリーダー像が語られていることです。そのようなリーダーになる、あるいは、リーダーを育成するために必要なことについても言及されています。

三つ目は、1875年に東京女子師範学校として、日本の女子教育の構築・実践という責任を担って誕生し、戦後に国立の女子大学となり、2004年の法人化にあたって「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションを掲げたお茶の水女子大学のあゆみを振り返り、今後果たすべき役割を確認するものであることです。室伏氏の基調講演を受け、第17代学長への就任を目前に控えた佐々木氏は「お茶の水女子大学だからこそできることは何か?という問いにしっかりと向き合って、今の日本だからこそやらなければならないことを見極めて、機動性を持って、社会と時代の要請にかなった道を進んで行かなければならない」と述べられました。

編集に携わりながら、このような冊子を世に送り出していくことも私たちお茶の水学術事業会の大切な役割ではないかと感じました。多くの方々がお手にとってくださることを願っております。

（お茶の水学術事業会 スタッフ一同）

## ブックレット12 目次

\*肩書は開催時点のものです。

「開催にあたって」

『グローバルリーダーとは』 講演企画委員会

開会挨拶

お茶の水女子大学理事 谷 明人

第1部 基調講演

「すべての女性の真摯な夢の実現に向けて」

お茶の水女子大学長 室伏きみ子

第2部 鼎談

「これからの女性のための高等教育と人材育成のあり方」

〈パネリスト〉お茶の水女子大学長 室伏きみ子

内閣府男女共同参画局長 林 伴子

お茶の水女子大学理事・副学長 佐々木泰子

〈司会〉お茶の水女子大学理事 谷 明人

あとがき「呼応する想い」

『グローバルリーダーとは』 講演企画委員会

滝澤公子・池田まさみ

ご注文・お問合せはお茶の水学術事業会まで

本体価格：500円（消費税、送料は別）

TEL：03-5976-1478、Email：info@npo-ochanomizu.org

Amazonでもお求めいただくことができます。



## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長年にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

新しい年を迎え、夢のつばさでも学生代表が交代時期を迎えて、フレッシュな活動の様子をお伝えしたいと張り切っておりましたが、またも変異株が出現し、今が頑張りどころと思いつつも、終わりの見えない長さにくじけそうになります。皆さまお変わりなくいらっしゃいますでしょうか。



そんな中でも大学生やOB・OGたちが、コロナの感染拡大が一時落ち着きを見せた昨年12月、クリスマスのプレゼントを子どもたちに手渡ししに、東北3県に日帰りで行ってまいりました。例年の冬キャンプで、子どもたちもスタッフも楽しみにしているのはクリスマス会です。東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れ、一緒に時間を過ごす活動を考えたとき、一番先に思ったのは、「保護者を亡くし、家や家財を失い、あるいは育った土地を離れて新しい環境に生活する中で、周囲のクリスマスの華やかさがひととき寂しさを募らせるのではないだろうか」ということでした。子どもたちに、「一緒に集う仲間がいる」「ともにクリスマスの催しや音楽会を楽しむ場がある」と感じてほしいと考えて、キャンプ日程を調整し、さまざまな企画を用意してきました。



「この冬のキャンプができない代わりに、せめてクリスマスプレゼントを手渡しに行けないだろうか」と社会人スタッフたちが思い悩んでいると、幸いにもコロナデルタ株の感染が下火になってきました。学生スタッフに相談すると皆、色めき立ちました。ワクチン接種を2回、インフルエンザワクチンも接種すること、スタッフは少人数で、ごく短時間でプレゼントを渡して帰ること、飲食しないこと、うれしくてはしゃぐような企画にしないこと、などと相談して、クリスマス企画が開始しました。いつも子どもたちにクリスマスプレゼントをご寄付くださる(株)サンリオ様にご連絡をして、今回も快くご用意いただけることになりました。

12月11日、厳重な感染対策をして、学生とOB・OGの2名ずつからなる3チームが、郡山、仙台、盛岡の市民センターなどで、子どもたちと2年ぶりの対面行事を行いました。30分程度というごく短時間で、大学生たちも時間配分に苦労しつつも楽しい活動になったようです。子どもたちも久しぶりに、子ども同士やスタッフと出会って楽しそうでした。東北3会場と、東京の学生や社会人スタッフともZoomをつないで、ほんの数分でしたが手を振りあうこともできました。



OB・OGスタッフからは、子どもたちの成長に驚く声相次ぎました。2年ほどの間に、スタッフの背を超えるほど身長伸びた中学生男子もいます。すでに専門学校や大学入学を決めて、今度はスタッフとして、夢のつばさに参加したいという高校3年生もいます。夢のつばさの学生スタッフになって、オンラインの企画だけで2年間を過ごし、今回、初めて子どもたちに対面で出会った大学生たちも、うれしさひとしおの様子でした。会場への送迎にいらした保護者の皆様にご挨拶もできて、夢のつばさのあたたかいつながりを改めて感じられる機会にもなったようです。「いい活動だなあ。子どもたちともっとたくさん遊びたい」と語る大学生や、「クリスマスの企画を進めるなかで、ご支援くださる多くの方々に支えられていることを改めて感じた」と感想を述べる大学生もありました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



なお、当日参加できなかった子どもたちには、後日、カードとプレゼントを郵送しました。

早くいつもの様なキャンプ活動ができることを願っております。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

連絡先: 事務担当 滝澤公子 TEL&FAX: 03-5978-5362 E-mail: tsubasa@npo-ochanomizu.org



# お茶の水女子大学 イベント情報

2022年3月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

開催日時	イベント・講座名	参加費	備考
3月14日(月) 9:30～12:40	ヒューマンライフイノベーション開発研究機構 国際シンポジウム 「健康で心豊かな「人生」を科学する ーヒューマンライフイノベーションの創出と挑戦ー」 【基調講演】 ①「台湾の少子高齢化社会における栄養研究の イノベーション」 楊素卿(台北医学大学教授) ②「子どもの自己肯定感とQOL」 榊原洋一(お茶の水女子大学名誉教授) 【ヒューマンライフイノベーション研究所 報告】 ① 飯田薫子(教授) ② 後藤真里(特任准教授) 【人間発達教育科学研究所 報告】 ① 菅原ますみ(客員教授) ② 浜野隆(教授)	無料	【会場】 Zoom によるオンライン開催 【主催】 ヒューマンライフイノベーション開発研究機構 ヒューマンライフイノベーション研究所 (IHLI) 人間発達教育科学研究所 (IEHD) 【対象】 お茶の水女子大学教職員、学生、一般 【詳細】 <a href="https://www.ocha.ac.jp/event/20220203.html">https://www.ocha.ac.jp/event/20220203.html</a> 【申込み】 要、3月11日(金)まで <a href="https://forms.gle/VvZHzrYZA9BUjTanU9">https://forms.gle/VvZHzrYZA9BUjTanU9</a> または右記 QR コードより 【問合せ】 <a href="mailto:info-ihli@cc.ocha.ac.jp">info-ihli@cc.ocha.ac.jp</a> (ヒューマンライフイノベーション研究所事務局) <a href="mailto:info-iehd@cc.ocha.ac.jp">info-iehd@cc.ocha.ac.jp</a> (人間発達教育科学研究所事務局)
3月20日(日) ① 14:00～16:30 ② 17:00 ～4月18日(月)	第6回 お茶大こどもフォーラム (オンライン 開催) ① 全体会・講演会 (ライブ配信) ② 分科会 (オンデマンド配信)	無料	【会場】 Zoom によるオンライン/一部オンデマンド開催 【主催】 お茶の水女子大学 保育マネジメント及び保育実践 講座プロジェクト 【詳細】 <a href="https://www.ocha.ac.jp/event/20211225.html">https://www.ocha.ac.jp/event/20211225.html</a> 【申込み】 要、3月14日(月)17:00まで <a href="http://bit.ly/ochadaikodomoforum6">http://bit.ly/ochadaikodomo forum6</a> または、右記 QR コードより 【問合せ】 文京区立お茶の水女子大学こども園 TEL: 03 (5978) 5127 FAX: 03 (5978) 5126 こどもフォーラム専用 E-mail: <a href="mailto:kodomo-forum@cc.ocha.ac.jp">kodomo-forum@cc.ocha.ac.jp</a>
3月21日(月祝)	お茶の水女子大学附属学校園算数・数学部会 第5回統計教育シンポジウム 「身の回りの問題を統計的によりよく解決する 力を身に付けよう」 ・統計的探究プロセス (PPDAC サイクル) を重視した 附属小中学校の実践発表、大学の取組説明 【講演】「算数・数学における統計的探究プロセスの学 習では何をめざすのか」 藤井良宜(宮崎大学教授)	無料	【会場】 Webex meeting によるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学附属学校園連携研究算数・数学 部会 (共催: お茶の水女子大学人間発達教育科学研 究所保育・教育実践研究部門) 【詳細】 <a href="https://www.ocha.ac.jp/event/20220120.html">https://www.ocha.ac.jp/event/20220120.html</a> 【申込み】 要、3月16日(水)まで 上記 URL 内の専用申込フォーム または右記 QR コードより 【問合せ】 <a href="mailto:fujiwara.daiki@ocha.ac.jp">fujiwara.daiki@ocha.ac.jp</a> (附属中学校 藤原大樹)
3月26日(土) 14:00～16:00	2021年度 第10回ブータン連続セミナー (第150回ブータン勉強会) 「映像作品を通してブータンの諸相を学ぶ⑩」	無料	【会場】 Zoom によるオンライン開催 【主催】 グローバル協力センター、日本ブータン研究所 【対象】 お茶の水女子大学関係者、一般 【詳細】 <a href="http://www.bhutanstudies.net/18204/">http://www.bhutanstudies.net/18204/</a> 【申込み】 要 <a href="https://bit.ly/3wbdPPP">https://bit.ly/3wbdPPP</a> 【問合せ】 <a href="mailto:hirayama.takehiro@ocha.ac.jp">hirayama.takehiro@ocha.ac.jp</a> (グローバル協力センター 平山雄大)
4月24日(日) 14:00～15:30	第32回リケジョ - 未来シンポジウム 講演者: 佐藤陽子(キューピー株式会社 研究開発本部 食創造研究所), 他1名	無料	【会場】 Zoom によるオンライン開催 【主催】 お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構 【対象】 女子高校生・中学生、保護者、教員、女子大学生・ 大学院生 【詳細】 <a href="http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/">http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/</a> 【申込み】 HP 内の専用フォームにて 【問合せ】 <a href="mailto:coreofstem-sympo@cc.ocha.ac.jp">coreofstem-sympo@cc.ocha.ac.jp</a>

## お茶大女性リーダー育成塾：<sup>き いんじゅく</sup> 徽音塾 2022 年度

詳細と各申込みは、徽音塾ホームページ <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/> をご覧ください。※「きいんじゅく」で検索可能です。  
2022 年度は、女性のエンパワーメントとリーダーシップ講座 (E)、ビジネス講座 (B)、お茶大プロフェッショナルレクチャー (P) 各 6 科目です。

### 2022 年度 説明会

※詳細はホームページの「お知らせ」に掲載いたします。

日時	3月12日(土) 10:30～11:30
形式	Zoomで行います。 ※お申し込みいただいた方に URL を事前にご連絡します。
参加費	無料(要申込) ホームページトップ下部「お知らせ」→「2022 年度 徽音塾説明会のお知らせ」→「お申込」からお申し込み下さい。
内容	① 塾の概要説明 ※ 2022 年度の特徴についてもご説明します。 ② 塾生の声 ③ 質疑応答 ④ 交流会

### 2022 年度 開催概要

時間	13:30～16:40 (すべて土曜日)
形式	Zoom を使うオンライン講座 ※ PC での受講を推奨します。 ※ 1 科目から受講いただけます。 ※ 最新情報は HP、Twitter を ご覧ください。



HP Twitter

【お問い合わせ・連絡先】

お茶大女性リーダー育成塾：徽音塾 事務局 E-mail: [kiin-le@cc.ocha.ac.jp](mailto:kiin-le@cc.ocha.ac.jp)

### 2022 年度 5 月～ 8 月開催の講座

※ 1 科目から受講いただけます。

(E)	5/14	「女性の生活が楽になる女性学 ～ 忙しい中でも自分らしく～」(石井クツ昌子)
(E)	5/21	「自分と次世代のための流されない生き方～ 人生のハンドルは自分が握る～」(岩田千栄美)
(E)	5/28	「女性管理職はいかにして育つかーダイバーシティとリーダーシップからの検討」(岡村利恵)
(E)	6/4	「あなたの背中を押します！ ～ アカデミアの役割と活用方法～」(藤原葉子)
(E)	6/11	「コロナショック後で多様化するワークスタイルとキャリア形成」(渡邊享子)
(E)	6/18	「仕事も家庭も！ 頑張るけれど自然体で」(小西雅子)
(P)	7/2	「地球規模の食糧問題の解決に向けたコオロギが支える循環型食糧生産システム」(由良敬)
(P)	7/9	「心理学的側面から見たLGBTQ」(石丸徑一郎)
(P)	7/23	「健やかな生活とジェンダー平等」(斎藤悦子)

※ 7 月末以降には P 講座 3 科目、B 講座 6 科目を開講します。

### 桜蔭会の講座

#### 1. 「桜蔭塾」 <http://www.ouinjuku.com/>

「会員同士が学びあい、教えあう」、「懐かしいお茶の水女子大学の先生がたにご研究のお話をうかがう」の二つを柱とする事業です。

Web サイトには、これまでに開講した講座の報告(講演要旨と受講者からの感想)が掲載されていますので、ぜひご覧ください。



#### 2022 年 3 月以降に予定されている講座

開催日時	開催方法	講師	テーマ
3月19日(土) 14:00-15:30	Zoom	多賀 幹子 氏 (ジャーナリスト)	「孤独は社会問題」 ～孤独対策先進国イギリスの取り組み～
5月15日(日) 14:00-15:30	ハイブリッド (国際交流留学生プラ ザ4F+Zoom)(予定)	佐々木 泰子 氏 (お茶の水女子大 学 学長)	「お茶の水女子大学の過去・現在・ 未来」
6月25日(土) 14:00-15:30	Zoom	鳥羽 研二 氏 (東京都健康長寿 医療センター理事 長・医師)	「フレイル・認知症予防」 ～100 歳時代、人生の後半をどう生き 抜くか～
9月11日(日) 14:00-15:30	Zoom	石井クツ昌子 氏 (お茶の水女子大 学 副学長)	「家庭内性別役割分業から考える男 女平等参画」 ～男性の育児・家事に注目して～
11月26日(土) 14:00-15:30	Zoom	五戸 美樹 氏 (フリーアナウンサー)	「声が良くなる話し方」 ～普段の声をもっと素敵に～

#### 2. “おとなの勉強” 始めませんか? 「数学っておもしろい? 講座」

おとなの勉強「学び直し」の企画です。日頃子ども達が考えている数学の問題に、もう一度取り組んでみませんか? 4 月から開講予定です。

【場所】 国際交流留学生プラザ 3F 会議室  
【対象】 小学校高学年から中学生の保護者

【定員】 25 名 ※ 先着順  
【講師】 田口 裕子 氏 (元お茶の水女子大学附属  
中学校数学科教諭)

●詳細: 桜蔭会事業部  
<https://www.ouinjuku.com/toiawase>

### お茶の水学術事業会よりお知らせ

#### 1. 2022 年度 共催講演会・助成金事業を募集しています

<https://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>

【対象となる事業期間】 2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

【申請受付】 2022 年 4 月 1 日～5 月 31 日

○共催講演会ー参加予定人数が 50 名以上の講演会が対象。講師謝礼金の助成(上限 3 万円)、講師交通費(実費)の支給、広報協力等。

○助成金事業ー以下の事業に対し助成金(事業費の 2 分の 1 以内、1 件につき 10 万円まで)を支給。

- (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- (2) 学術関連等の出版事業
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

#### 2. 随時ご入会・ご寄付を受け付けております

○会費・ご寄付のお振込先 ※所得税の寄付金控除の対象にはなりません。

【振込先】 ゆうちょ銀行 (郵便振替口座)

【口座番号】 00100-3-583029

【口座名義】 特定非営利活動法人お茶の水学術事業会

・2021 年度 ご寄付の報告

金 1 万円 岡田礼子様

心より御礼申し上げます。

○ご連絡・お問い合わせ

お茶の水学術事業会事務局

Email: [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org)

TEL: 03-5976-1478 (月～金 10 時～16 時)

### 編集後記

昨今はインターネットで様々なことが検索できますが、やはり分からないこともあります。今回の TOPICS は、大学の施設課と歴史資料館の職員の方々にお力をお借りしました。早く、迅速に、適切な情報や資料をご提供くださるプロのお仕事に感動し、人間同士のコミュニケーションに勝るものはないと思いました。

### 広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は 2022 年 6 月に 2500 部発行予定です。会員の皆様ははじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1 回につき 20,000 円。詳しくは下記までお問い合わせください。

### 事務局

**OPEN 月～金 10:00～16:00**

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3 号館 204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org)

<https://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



#### ◆事務局所在地

東京都文京区大塚 2-1-1  
お茶の水女子大学  
理学部 3 号館 204

#### ◆交通機関

地下鉄 丸の内線

茗荷谷駅から徒歩 7 分

地下鉄 有楽町線

護国寺駅から徒歩 8 分

都バス

大塚 2 丁目バス停すぐ